

# サプライチェーンマネジメント

お取引先からの原材料、設備、物品・サービスの供給があってこそ

当社グループの事業は成り立っています。

お取引先との相互信頼のもと、公正かつ誠実な調達活動に努めています。

## 原材料調達における考え方

当社グループ事業は、原材料、設備、資材など様々な物品供給により成立しています。

事業の持続的成長のためには、お取引先と健全な協力関係が不可欠であり、相互信頼を基にしたオープンで公正・誠実な調達活動を追求し維持・強化を進めます。

調達活動のグローバルな広がりに対応し、全グループ企業の調達部門の共通規範として「グループ調達方針」を策定し浸透させ、共通の価値観共有と統制ある活動を目指します。

また、お取引先に本方針をご理解いただき、健全なお取引を共に推進したいと考えています。

### 調達方針

日本ペイントホールディングスグループの経営理念に則して、調達部門は、大切なパートナーであるお取引先さまとの調達活動において、以下の方針を遵守・推進いたします。

#### 1. 法令遵守・人権尊重

日本ペイントホールディングスグループは、法令や国際ルールを遵守するとともに、人権を尊重し、不当な差別や不当労働など人権を侵害しない調達を行います。

#### 2. 公正取引

日本ペイントホールディングスグループは、自由な競争に基づく公平かつ公正な調達を行います。個人の利害関係が取引先選定の判断に入らないように努めます。

#### 3. 取引先の評価

日本ペイントホールディングスグループは、品質・価格競争力・安定供給力・技術力のみならず経営状況・CSR、環境保全・資源保護の推進、安全や健康に対するリスク管理への継続的取り組み等により合理的にお取引先の選定を行います。

#### 4. 取引先との信頼関係構築

日本ペイントホールディングスグループは、お取引先との対話を重視し、信頼関係構築に努め、ともに持続可能な調達を推進します。また、調達活動におけるリスク低減を取引先と協働で進めます。

## 調達方針に沿った取り組み

塗料は様々な化学物質で構成され、原材料の化学物質情報が重要です。全購入原材料についてお取引先より必要な物質情報や国内外規制への適合性に関する最新情報の提供を受けています。この情報を基にお客様への製品安全や輸出対応のための情報として活用しています。また、日本化学工業協会が推進する「サプライチェーンにおける化学物質のリスク評価関連情報を共有する仕組みの整備」に当社は協賛しており、お客様の要請に応じた情報提供しています。

### 責任ある原材料調達

紛争鉱物や児童労働等、人権を尊重していない原材料は川上まで調査し、その使用を禁止しています。紛争鉱物調査は、年1回、対象化合物(3TG)を含有する原材料購入先に紛争鉱物報告テンプレートで調査し、顧客要請に対応するとともにリスクある原材料の排除に努めています。

### CSR調達調査

お取引先の選定は、調達方針に則して合理的に判断しています。お取引先評価の試みとして、国連グローバル・コンパクト・ネットワーク・ジャパン サプライチェーン分科会作成のCSR調達

セルフアセスメント質問表(SAQ)を用い、17年購入実績より購入金額順上位80%以上を対象に、回答を依頼しました。対象84社中74社より回答(回答企業でのカバー率71%)、回答の平均得点(100点換算)90点、最高100点、最低45点となりました。暫定的に70点未満の4社には意見交換や改善の協議、未回答企業へ協力要請を実施しています。今後、対応基準を整備する予定です。

### BCP対策

BCPの一環として、原料統合、複数購買、代替品検討を実施しています。お取引先にもBCPの取り組みを要請し、ともにリスク低減を図っています。緊急事態への対応として重大な自然災害や事故による調達への影響を把握するため、一斉問い合わせシステムで情報収集を行っています。18年は、地震・台風7件、火災・爆発事故1件で初動対応しました。

### 調達業務に携わる従業員への教育

調達業務に携わる従業員のレベル向上のため、情報管理、下請法やインサイダー取引等についてコンプライアンスガイドブックに基づいた教育を実施致しました。